

(入札資料 4)

仕様書

1. 超音波画像診断装置の構成内訳

- (1) 超音波診断装置本体 1 台
- (2) コンベックスプローブ 1 本
- (3) リニアプローブ 1 本
- (4) セクタプローブ 1 本

超音波画像診断装置一式は、以下の要件を満たし、モバイルタイプまたは同等グレードのスタンドタイプの装置は除外すること。

2. 超音波装置の技術的要件

超音波診断装置本体は、以下の要件を満たすこと。

(1) 装置の外寸(W)×(D)×(H)およびバッテリー機能について

- ① 外寸幅(W)は 550mm を超えないこと。
- ② 外寸高(H)は術者の負担にならない姿勢で検査が行えること。
- ③ コンセントからの電源供給がない状況であっても、バッテリー駆動での連続検査使用時間がフル充電状態で 120 分以上であることが望ましい。また、バッテリー搭載する為の取り付けキットも装備すること。

(2) 装置の設備について

- ① 検査前の患者登録がバーコードで入力が可能であること。
- ② 観察モニタは 23 インチ以上の液晶モニタで、Full HD(1920×1080)以上の解像度を有すること。
- ③ B モードとカラーモードのリアル同時表示は左右と上下でリアルタイムに変更可能であること。
- ④ プローブコネクタは 4 つ以上であること。またプローブ切替が簡易であること。
- ⑤ 操作パネルのボタンのキー配置を入れ替えることが可能であること。
- ⑥ 患者情報入力画面の各項目やエラーメッセージが日本語で表示されること。
- ⑦ 検査中の GAIN、STC の自動調整機能を備えており、リアルタイムに自動で調整が行われる機能を有すること。
- ⑧ ZOOM 方式はエンコーダでスケールの拡大/縮小、トラックボールで任意の位置に移動が可能なリアルタイム PAN/EXPAND と、指定した範囲の画像拡大が可能な Spot zoom を備えていること。
- ⑨ 観察モニタのサムネイルエリアには、検査中の画像データおよび同被検者の過去画像データを表示できること。
- ⑩ 検査後においても、Raw データから再構成した画像に対して、Gain と STC の調整、ボ

ディマークの追加や削除、再計測が可能であること。

- ⑪ 全ての深さにおいてフォーカスマークの調整が不要となるフルフォーカスモードに対応し、ワンタッチで切り替えが可能であること。

3. 各種機能評価について

- (1) 肝線維化を定量評価するアプリケーションソフトが備わっていること。
- (2) 3-1) において、複数回の計測結果を表示し、計測結果を経時的に表示できること。
- (3) 減衰による肝脂肪化を定量評価するアプリケーションソフトが備わっていること。
- (4) 3-3) において、複数回の計測結果を表示し、計測結果を経時的に表示できること。
- (5) 心臓領域の EF 算出について、Simpson 法による自動計算が行えること。
- (6) 左心室の心尖四腔像、二腔像において、Biplane 計測をワンボタンで行え、同時に Global Longitudinal Strain (GLS) の算出が可能であること。
- (7) 幅 10mm の範囲に含まれる IMT を画像認識後に自動トレースし、IMT の平均値と最大値を自動計測する Auto IMT 機能を有すること。
- (8) 各機能評価は、検査終了後にも行えること。

4. プローブについて

- (1) 成人用の腹部領域のコンベックスプローブを備えること。プローブのラインナップが多種ある場合は、操作性（薄型）および機能性の高いプローブを備えること。
- (2) コンベックスプローブで高画質を維持し、視野角を最大 115° まで広げる機能を有すること。
- (3) 表在組織、血管領域用の高周波リニアプローブを備えること。
- (4) リニアプローブで、台形表示が可能であること。
- (5) 心臓領域のセクタプローブを備えること。
- (6) セクタプローブの視野角は約 90° 以上であること。

5. その他

- (1) 心エコー検査に必要なケーブル類を備えること。
- (2) 心電図電極リード線とはさみ電極を使用して観察モニタに心電図 (ECG) を表示する機能を有すること
- (3) ゼリーウォーマーが搭載されていること。
- (4) 3-1) 項目の検査の診療報酬の請求が可能であること。

6. アフターメンテナンス・サービス・設備

- (1) 機器導入後 1 年間に於いて、通常使用における機器トラブルについては、随時無償修理対応を行うこと。
- (2) 本機種に障害が生じた場合、復旧のための迅速な対応が行えること。
- (3) 障害時対応として、修理部品が用意されていること。

- (4) サービスエンジニア体制が整っていること。
- (5) 当センター画像サーバーに画像保管ができること。受注者は予め画像サーバーへの取り込み形式を確認し、PACS メーカーおよび当センターのヘルプデスク室より指示があれば厳守すること。また、接続に関わるすべて費用を負担すること。
- (6) 医療従事者が操作方法を熟知し、確実に使用できるまで受注者が技術支援を行うこと。